

甲府一高あおぞら会 年報 2016

AOZORA

2017年2月18日発行(年1回発行) vol.2

〒252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台1-7-7 おぐちこどもクリニック内 甲府一高あおぞら会
ホームページ <http://www.ymkp.net/aozora/> フェイスブック<http://urx.nu/il6t>



あおぞら共和国について

認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク会長 小林信秋

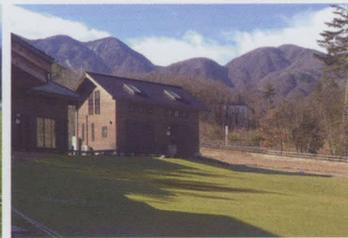
◆あおぞら共和国の現状

当会では、難病のこどもと家族を支えるために、相談を受けたりキャンプを開いて交流の場を設けるなどの活動を進めています。あおぞら共和国では、2016年12月に利用者は延べ2000名を超えました。難病や障害のある子どもやその家族は、外出したくても他人の目が気になったり、車椅子移動の制限や食事(ミキサ食をお願いできないか)、医療的な面などで困難があり外出できません。そんな中あおぞら共和国では、他人の目を気にせず気兼ねなく落ち着いて過ごせるのがいいという感想をたくさんいただいております。あおぞら共和国に来ると、隣の棟の人達と自然にお友達になり、兄弟同士で遊んだり、夜は机を囲んで語らいの場になったりしています。2016年度で宿泊棟4棟が完成し最大50名宿泊可能となっており、芝の植栽、ステージなどが完成しています。ここまで進めてこられたのも皆様の支援のたまものです。ありがとうございました。これからもみんなの憩いの場として、集まりたくさんの笑顔を育ていける様にご支援を宜しくお願い致します。



↓1000人目記念---6月神奈川県からお越しのWファミリー

↓青々と育った芝



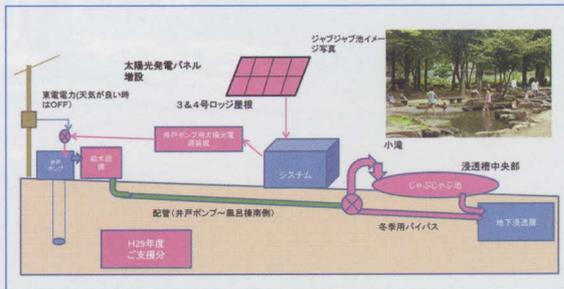
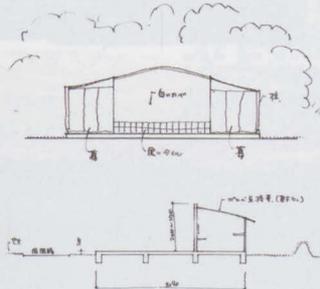
◆これからのあおぞら共和国

2016年8月下旬から中央広場の芝の植栽工事が始まり、9月中旬には播種作業を行いました。夏には中央広場の芝生を裸足で駆けまわる子どもたちの姿を見るのが楽しみです。(上部の写真-青々と育った芝-参照)

2016年12月よりステージ建設の工事が行われ2017年2月中に完成します。春以降、このステージを使っていろいろなイベントを開催する予定です。(下部工事写真と図面参照---図面はステージ〈楽屋倉庫付き〉完成図)

2017年度は、じゃぶじゃぶ池とセンター棟の建設、敷地の緑化を予定しています。じゃぶじゃぶ池はステージ横に建設され、井戸からくみ上げた綺麗な水が常に流れるようにします。(下部右図---じゃぶじゃぶ池の太陽光システム図参照)

このじゃぶじゃぶ池は24時間テレビチャリティー委員会様からの助成により建設されます。センター棟には、管理室や診療室、約80名が集える会議室、そして展望室、天文室、エレベーターなども設置する予定です。敷地の緑化については、敷地の周囲に地元の桜の木の植栽を計画しています。“あおぞら共和国”でお花見ができるといいですね。



あおぞら共和国の歴史



山梨県北杜市、白州の地に「あおぞら共和国の建国」に至る歴史を、簡単にまとめました。

2011年1月 NPO法人難病のこども支援全国ネットワークへ篤志家の方から寄贈していただいた土地の登記が完了しました。

2011年7月 寄贈を受けた土地に常設の宿泊施設建設を目標として、みんなのふるさと夢プロジェクトが発足しました。

2011年11月 伐採式が行われ、整地作業を開始しました。

2012年6月 地元説明会開催。10月山梨県、北杜市に開発申請を提出。2013年1月開発許可受領

2013年3月 開発工事開始、井戸の掘削開始。5月造成工事完了。9月第1号ロッジ起工式

2014年2月 難病ネット会員の投票で、名称が「あおぞら共和国」に正式決定。3月に第1号ロッジ竣工

2014年4月 第1号棟 24HTV太陽光発電システム給湯システム贈呈式。10月第2号棟ロッジ完成

2014年10月 第2号棟 お風呂棟24HTV太陽光発電・熱システム贈呈式

2015年9月 第4号棟 ロッジ贈呈式

2016年4月 第3号棟 竣工式、24HTV太陽光発電システム贈呈式

あおぞら共和国利用者の声

あおぞら共和国の利用者は、2016年12月で2000人を超えました。4棟稼働すると1日に50人宿泊することが可能です。団体の利用も始まり、難病ネットにはうれしい感想がたくさん寄せられていますので、その一部をご紹介します。



SSPE青空の会(亜急性硬化性全脳炎家族の会) 会長 田伏純子

初めて『あおぞら共和国』でサマーキャンプを開催しました。患児家族は10人用ロッジに宿泊し、ボラ宿泊、イベント、食事などはすべて20人用ロッジを活用しました。一般客のいない気兼ねない専用施設の快適性を満喫できました。食事・寝具・掃除などすべてセルフサービスでしたが、かえって互いの絆を高めることとなりました。医療者との車座での情報交換会や総会といったフォーマルなものからゲーム大会・夜の飲み会とフランクなものまで3号棟で、机のレイアウト変更だけで実施できる素晴らしい施設でした。

Iさん(神奈川県在住)ご家族—5月:1号棟ご利用

今回の旅行は“足の不自由な娘を大喜びさせる”という事を目的に旅行でしたがその目的が実現できた旅でした。普段室内をハイハイ移動している娘ですが施設の室内を自由にハイハイし、手すりにつかまりながら階段も上り、天井からは星がたくさん見られて娘も兄弟も大感動でした。子供たちの喜ぶ姿がとても嬉しかったです。



あすなるの会(ダウン症・家族の会)—8月:会員50人で合宿(2泊3日)

Hさん---家族みんなとても楽しく過ごせました!ロッジがとても綺麗で、トイレや洗濯機も最新のものです。とても快適に過ごせました。お風呂も大きくて、娘はあんなに大きいお風呂は初めてで、独歩の練習をしたりしました。皆で食べるカレーも美味しく、娘もいろんな刺激をもらってきたと思います。暖炉がついていたので、冬に行っても良さそうだと思います。Yさん---木のぬくもりがある広い建物で友人家族と過ごせる時間は貴重でした。子育ての話で夜遅くまであつという間!子どもたちは一日中笑顔で走り回りました。

あおぞら共和国利用方法

難病や障害のある子どもとご家族・関係者・支援者及び難病ネット会員(正会員・賛助会員・購読会員)が利用できます。利用申込書は、当会のホームページからダウンロードし、必要事項記入の上FAXかE-mail又は郵送でお送りください。利用は最長3泊4日まで。(最後の利用からは30日空けてください) 詳しくは難病ネットのホームページ <http://www.nanbyonet.or.jp>

新緑ウォーク2016

200名以上が参加した11km (JR日野春駅～あおぞら共和国) チャリティウォーキング
甲府一高あおぞら会が主催しました。



「あおぞら共和国」支援のためのチャリティウォーキング「新緑ウォーク2016」を4月23日、「甲府一高あおぞら会」の主催で開催しました。約200名の参加者が、JR日野春駅から「あおぞら共和国」までの約11kmのウォーキングを楽しみ、ゴールの「あおぞら共和国」では完歩パーティを開催しました。ジャズ演奏やお料理のボランティア参加で、楽しいひとときとなりました。当日は天候に恵まれ、山々のきれいな景色と新緑の香りがさわやかな気分にさせてくれました。車イスの参加者へのサポート(助っ人)や、道案内、車で巡回、食事・会場準備など、たくさんのボランティアの方々のご協力で、無事に終了することができました。完歩パーティ後に甲府一高あおぞら会の総会を開きました。(写真下段左)



■HYさん(甲府一高S50年卒)(フェイスブックはなみずき 投稿より)

新緑ウォークに参加しました。車椅子の方を囲んでご両親様、S44年卒の先輩と相模原市の看護師さんと、日野春駅からサントリー白州蒸留所近くのおおぞら共和国まで、お話ししながら春景色を楽しみながら歩けました。今回(お手伝いさせていただいた車椅子のお嬢さん)はピアノ演奏される方だそうで、ジャズも弾くんですかとお聞きしたら、おもしろい回答が・・・一高の先輩・後輩であるあおぞら会役員の方々の献身的な準備と当日のかがいしい活動のお陰で「助っ人」の腕章が恥ずかしくなるくらい楽しませていただきました。この会の楽しさの秘密がよくわかりました。

■IWさん(甲府一高S30年卒)

好天に恵まれ、芽吹き、若緑良し、民家丹精のお花の彩り、道の端草花に元気を貰い、鶯の美声に歓迎されて、申し分ない時節に私に合った山歩きを堪能させて頂きました。あおぞら会のウォーキングでこんな機会を与えて頂いて本当に感謝しています。有り難うございました。それにしても、スタッフの皆様のお働き素晴らしいですね。甲府一高あおぞら会のご活動誇りに思います。小口先生も嬉しそうでしたね。皆様お疲れ様でした。これからも夢プロジェクト完成に向けてご尽力下さいませ。私も細やかながら側面から応援していきたいと思っています。後お疲れが残りませんように、ご自愛下さいませ。有り難うございました。

■ITさん(甲府一高S33年卒)

お世話になりありがとうございました。皆さんがぎびぎび動いて活躍している姿はなんとも頼もしく、やはり一高を強く感じました。



草刈りボランティア



年に数回、草刈り、薪割りを難病ネット主催で行っています。甲府一高あおぞら会会員も数名参加しました。建物の建築は進んでいます、「あおぞら共和国」の環境維持には「草刈り」は欠かせません。敷地とその周辺を雑草のない状態を保つには、継続しての「草刈り」が必要となります。雑草はあっという間に成長します。特に、夏はていねいな「草刈り」をこころがけたいと思います。

170kmウォーク



「みんなのふるさと夢プロジェクト」5周年記念チャリティウォークが難病ネット主催により開催されました。あおぞら共和国のチャリティを目的に東京水道橋から白州のあおぞら共和国までの170kmを踏破するチャリティウォークが2～4月にかけて行われました。水道橋から白州への参加者は50名を超えました。最終日には日本テレビ24時間テレビから太陽光発電システムの贈呈式も行われました。

チャリティウォーク2016一秋



2016年10月29日に難病ネット主催のチャリティウォークが開催されました。朝には雨が残るという予報でしたが、快晴でとても気持ちが良い気候となりました。車イスのお子さんや、障害のあるお子さん、赤ちゃんを含め、総勢約110名が集まりました。甲府一高あおぞら会では、車イスのサポート(助っ人)や道案内のお手伝いをしました。宿泊棟のデッキに上がるスロープの建設に使う板を、ご参加いただいた方々で寄付しました。みなさんで一言メッセージを書き入れました。

新緑ウォーク2017の案内と参加申し込み方法

2017年の新緑ウォークは4月22日(土)に開催いたします。JR日野春駅から白州「あおぞら共和国」までの約12kmです。申込み用紙にご記入の上FAXしていただくか、ホームページからお申し込みください。どなたでも参加いただけます。ウォーキングの詳細はホームページに掲載しておりますのでご覧ください。ホームページ：<http://www.ymkp.net/aozora/>

日時 4月22日(土)小雨決行

集合 JR日野春駅前公園 10時10分

新宿08:00<スーパーあずさ>09:28甲府09:32→09:59日野春

◎お車でお越しの方はゴールのあおぞら共和国に駐車可能です。

あおぞら共和国からスタート地点に送迎いたします。※要事前予約

日程 10時30分出発 JR日野春駅～あおぞら共和国まで

14時頃から あおぞら共和国で完歩祝いパーティ&あおぞら共和国見学

16時頃解散 帰りは小淵沢駅まで乗り合いタクシーを利用いただけます。

(甲府一高あおぞら会の会員はゴール到着後、総会を開催します。)

参加資格どなたでも(非会員の方でも)参加可

あおぞら共和国近くの『みどころ・あじどころ』 その1(毎号連載)



サントリー白州蒸留所 <http://www.suntory.co.jp/factory/hakushu/>

蒸留所ツアー、ハイボール体験、場内見学、南アルプスの天然水ツアー等各種の見学メニューがあります。博物館、レストラン、バー、ショップも楽しめます。

住所:〒408-0316 山梨県北杜市白州町鳥原2913-1 TEL:0551-35-2211

見学:入場には前日までに予約が必要です。上記ホームページ又は電話で予約してください。

博物館、ショップ、レストランのみ利用でも予約優先ですので、事前予約してください。

アクセス:あおぞら共和国から600mなので歩いて8分程度で行けます。JR小淵沢駅からはタクシー、土日祝日には無料シャトルバス有り。マイカーでは中央道小淵沢ICから15分です。



朝日中高生新聞に掲載されました。2016年5月29日

山梨県立甲府第一高校③ (甲府市) スクロール 同窓生の結束の象徴「あおぞら会」

甲府一高は同窓会の結束が強い。それを象徴するの一つが「甲府一高あおぞら会」だ。山梨県北杜市で難病の子どもの家族のためのキャンプ場を建設し、運営する「みんなのふるさと夢プロジェクト」を同窓会の有志で応援している。

神奈川県相模原市の小児科医、小口弘毅さん(64、1970年卒)は計画当初から携わっている。小学校からの友人、齋藤一文さん(64、70年卒)は会の会計責任者としてサポートする。

甲府一高の一番の思い出は、2人も学校から長野県小諸市まで100kmの山道を歩く「強行遠足」だ。小口さんは、2年生のときに歩ききった。「当時はスニーカーもまだなくて、まめができて大変でした」と懐かしむ。

一方、齋藤さんは1年生のときは飛ばしすぎて疲れ果て、2年生はゆっくり歩きすぎて時間切れ。いずれもタイヤだった。「同窓会が大勢が集まると、今でも小諸まで行った、行けなかったで、懐かしくて涙が止まりません。小口さんは北里大学医学部に進学、同大病院の新生児集中治療室(NICU)で長く診察、研究にあたり、2000年に小児科クリニックを開業した。「開業してNICUで治療を終えた子どもたちの退院後のサポートができるようになった」

11年、恩師の小児科医らと、認定NPO法人難病のことも支援全国ネットワークの事業の一つである夢プロジェクトを立ち上げた。「日本には難病の子どもたちが安

ちよく過ごせる宿泊施設がない」との思いからだった。

ロッジが建つキャンプ場は「あおぞら共和国」と名付けられた。今では1〜4号棟が完成し、50人が宿泊可能だ。ただ運営には多くの費用がかかる。「どうしたら大勢の人に協力してもらえるか」と思案していたとき、甲府一高の東京同窓会の集まりで講演する機会を得た。この講演をきっかけにして「甲府一高あおぞら会」が15年2月に発足した。現在、同窓生を中心に約180人が会員となっている。

齋藤さんは立教大学を卒業して長く都総で銀行マンとして働いた。定年退職していった齋藤さんを「熱烈なフレンド」で説得したのは、あおぞら会だった女性。口説かれて会計を引き受けた。「銀行に勤めていたから会計ができるって、みんな短絡的に考えるんですけど、ちょっと困り顔を見せつつも、月ごとの決算でのお金をきっちり管理している。あおぞら会は、毎年4月下旬にチャリティウォークを主催している。これらも強行遠足の流れです」と小口さん。今年はやっと14人が参加して新緑の中を歩いた。(編集委員・根本理香)



「あおぞら会にもっと若い世代も入ってほしい」と小口弘毅さん(左)と齋藤一文さん

甲府ロータリークラブより基金表彰をいただきました。例会で講演しました。



2016年4月18日に甲府一高あおぞら会の活動に対して、甲府ロータリークラブ基金表彰をいただきました。(左写真中央露木会長・右齋藤実行委員)2016年6月20日には甲府ロータリークラブ例会(岡島ローヤル会)で「あおぞら共和国建国支援活動について」と題し小口弘毅実行委員(医師)が講演しました。(写真右)

甲府にて「がんばれ共和国」の講演がありました。



2016年11月19日に山梨県立図書館の多目的ホールにて、難病ネット主催の「がんばれ共和国25周年チャリティ講演会」が開催されました。『がんばれ共和国からあおぞら共和国への軌跡』として、長年続けているサマーキャンプ『がんばれ共和国』からキャンプの果たす役割など...そしてそれがあおぞら共和国建設へとつながるといってお話でした。甲府一高あおぞら会露木会長も「応援団」として講演しました。

昨年亡くなられた佐々木まち子委員(発起人)を偲んで

新倉美智子会員

「意気に感じてやっちゃう人、計算しない人が好き！」が口癖だったまち子さん。身体が決して丈夫ではなかったにもかかわらず、友人が困ったと聞けば我先にと駆けつけ、無邪気にはしゃいで場を和ませてくれました。家業の薬局に来る独居のお年寄りが風邪だと聞くと、スープを届けたり、荷物が重そうな人を送って行ってあげたり...訪れる人がホッとできる、陽だまりのような場所にしたいのだと言っていたまち子さん。あなた自身が陽だまりそのものでした。「権力に与せず、志を高く、矜持を持って凛としている人、弱い人や、子どもや、困っている人の立場に立つ人が好き」と、常に身の回りに美しい物や言葉を置き「自分の感受性くらい自分で守ればかものよ」と、茨木のり子の詩を座右に自分を律して真摯な生き方をつらぬき、日々の努力を怠らない頑張り屋さんでした。まち子さん、あなたの不在が身に刺さります。

小口弘毅実行委員

2013年3月25日にまち子さんからメールをもらいました。『桜が満開になりましたね。土曜日に第九のレッスンのあとで、千鳥が淵へ仲間と一緒に夜桜を眺めに行きました。すごい人の波でした。空間いっぱい膨らみ、広がり、こぼれ、ほとぼしる桜の命を身体中で浴び、うきうきしながら歩いてきました。』生涯を夢見る女性として生きたまち子さんらしいメールです。小学校の頃からの幼友達であり、親しみは格別でした。夢プロジェクト支援を一高同窓会にどのように働きかけたらいいかと思いついていた時に、まちさんは2013年度の一紅会講演会をしたらどうかと提案してくれ、谷口会長の協力もあり、実現しました。支援の機運が高まってきたので、一高同窓生の支援の会を立ち上げようということになり、丸の内ビルのイタリアンレストランで初会合を2014年11月に開きました。まさにまちさんは甲府一高あおぞら会の生みの親だと思います。ありがとう。



左 小口弘毅実行委員 右 佐々木まち子さん

甲府一高あおぞら会の会計年度は4月から翌年3月迄となっておりますので、年報発行時には会計が確定していません。平成29年1月17日現在の状況をご報告させていただきます。

1. 収入 = 合計2,026,775円

- (1) 会費 = 942,000円 現在の会員数 318名 (難病ネット会員で会費免除の方4名を含む)
- (2) 参加費 = 210,440円 2016年4月23日に実施しました新緑ウォークの参加費等
- (3) 寄付金 = 874,335円 新緑ウォーク、同窓会、東京同窓会での寄付金(募金)、及び会員の皆様からの個別の寄付金

2. 支出 = 合計182,816円

- (1) 経費 = 138,684円 新緑ウォーク行事費用
- (2) 事務費 = 33,452円 支払手数料、通信費、運送費、消耗品費
- (3) 広報費 = 10,680円

3. 支援金 = 1,843,959円 収入より2. 支出を差し引いた金額があおぞら共和国への支援金額となります。

但し、今年度につきましては、別様に記載しておりますように、「同窓会」「東京同窓会」「神宮司房義氏物品売上」「44会夏の会」「草刈りボランティア」からの寄付金 合計334,252円は既に「夢プロジェクト」宛に、個別に振込済ですので、現在の支援可能金額は1,509,707円です。今後、年度末までに、主な支出としては年報の発行配布費用を見込んでおりますので、年度末のあおぞら共和国への支援金額は、1,400,000円程度になるものと予想されます。

● みんなのふるさと“夢”プロジェクト
ご寄付ありがとうございました。

甲府一高あおぞら会「同窓会」	34,000円	15
甲府一高あおぞら会「東京同窓会」	96,000円	15
甲府一高あおぞら会「一紅会」	62,275円	15
甲府一高あおぞら会「輿水精一氏書籍売上によるご寄付」	7,250円	15
甲府一高あおぞら会	615,082円	15
甲府一高あおぞら会「同窓会」	128,009円	16
甲府一高あおぞら会「東京同窓会」	131,806円	16
甲府一高あおぞら会「神宮司房義氏物品売上によるご寄付」	5,500円	16
甲府一高あおぞら会「44会夏の会」	30,000円	16
甲府一高あおぞら会「草刈りボランティア」	38,937円	16

15=15年度---合計814,607円 16=16年度---合計334,252円
NPO法人難病ネット機関紙「がんばれ!」に記載された甲府一高あおぞら会からの寄付金明細です。

- ◆ 2016年度の寄付合計金額は170万円程度になるものと予想しております。
- ◆ 今年度末の会計につきましては、確定次第、甲府一高あおぞら会のホームページに発表させていただきます。

会員の更新(会費納入)のお願い

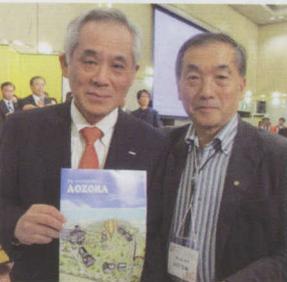
12月31日現在(会計年度は4月1日から翌年3月31日)で、会員数は318名となっております。会員の方は本年報に同封いたしましたゆうちょ銀行振込用紙にて、甲府一高あおぞら会 口座番号 00110-9-323825 へ振込みをお願いいたします。入金をもって会員の更新とさせていただきます。他の銀行から振込みを行う場合は、下記の指定をお願いします。

銀行名: ゆうちょ銀行 金融機関コード: 9900 店番: 019 店名: 0一九(ゼロいちきゅう店)
預金項目: 当座 口座番号: 0323825 (口座名: 甲府一高あおぞら会)

会員 年会費 3,000円 (年度途中加入の割引、退会時の払い戻しはありません)。認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」の正会員、賛助会員(B)の方は、事務局まで申告ください。会費は免除いたします。

輿水様よりのご寄付

昨年3月に開催された「一紅会 春の講演会」では、国際的な酒類競技会(コンペティション)で多く受賞するなど国際的に注目されている、サントリー名誉チーフブレンダー輿水精一様(S43年卒)が“今の日本のウイスキー文化”について講演されました。会場では輿水様の著書「ウイスキーは日本の酒である」が販売され、輿水様よりその益金をあおぞら共和国にご寄付いただきました。



左 輿水様 右 小口実行委員

神宮司様よりのご寄付

神宮司房義様(S30年卒)から、入院中に考案した、入院生活での生活便利グッズを同窓生に販売し、その売り上げの一部を寄付との申し出を受け、東京同窓会の会ブースにて紹介し、ご寄付をいただきました
Facebook <https://www.facebook.com/fusajin1?fref=ts>.



左・中央 考案したスマホ置き台、右 神宮司様



あいさつ

甲府一高あおぞら会 会長 露木 和雄

あおぞら会年報2016を発行出来ましたこと会員皆様のおかげと感謝します。甲府一高に何等か関係する方々が志を一つにしてのこの活動は、甲府一高の校是であるBe Ambitious!精神そのものなのではないかと思っています。私利私欲や世俗的な名声・栄達を求めるといふ動機からではなく、社会にとり大切に自分が深く関心を寄せる事の実現を目指し、率先して行動するというこの精神は、今の時代にこそ相応しいものと思います。今後とも甲府一高あおぞら会へのご支援よろしくお願ひします。

甲府一高あおぞら会 実行委員

2016年12月31日現在の甲府一高あおぞら会の実行委員は以下のメンバーです。

(年数は甲府一高卒業年、無印は昭和、Hは平成です。)

実行委員を広く募集しています。山梨在住の方、50歳未満の方大歓迎です。

会長 露木 和雄(45年) 副会長 軽石 泰孝(50年) 事務局 山本 秀彦(41年)
谷口 百合子(36年) 宇野 由美子(40年) 田伏 純子(44年) 雨宮 俊彦(45年)
小口 弘毅(45年) 齋藤 一文(45年) 飯沼 温子(45年) 斎木 裕子(50年)
高橋 久(51年) 青柳 均(51年) 上松 裕之(H3年) 保坂 香子(H3年)

お友達を誘ってください。(新規入会のご案内) 甲府一高同窓生以外の方も歓迎です。

会員の皆様の友人、知人の方に、白州の「あおぞら共和国」とその支援活動を紹介し、甲府一高あおぞら会に誘ってください。加入申し込み用紙に 氏名、甲府一高卒業生の場合は卒業年、紹介者のお名前、住所、電話番号、メールアドレスを記入して、以下の甲府一高あおぞら会までFAX、郵送、メールにてお送りください。甲府一高あおぞら会ホームページの入会者募集ページの詳細説明、申込み用紙を参照してください。

〒252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台1-7-7おぐちこどもクリニック内 甲府一高あおぞら会行
FAX:042-786-4132 ホームページ:<http://www.ymkp.net/aozora/> 事務局mail:aozora@ymkp.net

ホームページとフェイスブック

入会のお申し込み以外にも、活動の様子、草刈りボランティアやウォーキングなどの日程や詳細は、ホームページとフェイスブックにてお知らせしています。チェックしていただき、活動にぜひご参加ください。



facebook →
<http://urx.nu/il6t>



← ホームページ